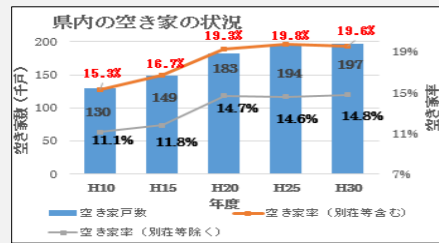
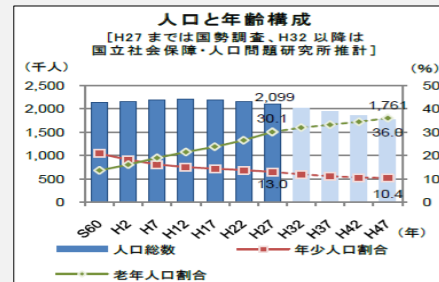


I 住まいを取り巻く現状と課題

1 住まいを取り巻く環境が大きく変化

- ・人口減少、少子高齢化
- ・空き家の増加、都市のスポンジ化、限界集落
- ・省エネ・耐震等に不十分な住宅ストック
- ・暮らしの多様化、地域の担い手が不足、コミュニティの希薄化 等



2 活かしたい『信州の環境と資源』

- ・すぐれた自然・歴史・風土・文化
- ・首都圏等からのアクセスの良さ
- ・身近な自然環境
- ・受け入れ力 等 (個人の変化に追従可、移住したい県 13年連続No.1 移住者、起業応援)

3 関連する『現行計画』等

- ・しあわせ信州創造プラン2.0 (H30~R4)
- ・長野県住生活基本計画 (H28~R7)
- ・長野県都市計画ビジョン (H31年3月改定)
- ・信州暮らし推進の基本方針 (H31年3月策定)
- ・SDGs未来都市 (H30年6月)
- ・気候非常事態宣言 (R1年12月)

<検討を行ううえでの整理>

- ・住宅性能に伴う検討は、住生活基本計画の見直しで実施予定
- 【県産材、セーフティネット、省エネ高齢者・健康関係 等】

II 専門委員会による検討、意見聴取等

1 専門委員会：豊かな自然や美しい景観、地域の歴史や文化に根差したこれからの時代に相応しい「信州の多様な住まい方」とは…

【第1回】信州の良さ・信州らしさとは

- <人に起因するもの> コミュニティの心地よさ、人とのつながり・人の良さ、様々な年代、シチュエーションを包み込む多様性、様々な思いを叶える懐の深さ 等
- <立地に起因するもの> まちと自然のちょうどよい距離感、都会と田舎とのハイブリッドな生活 等

【第2回】信州らしい暮らし・住まい方とは

- <地域とつながり、支え合う> コミュニティを積極的に作り出していく環境整備 (空き家・古民家等を活用) 住まい開き (住宅の一部開放)、地域外の者を受け入れ (新たな暮らし、まちづくり共創)、地縁・血縁を超えたコミュニティの創出、空間資源のミスマッチの解消 等

【第3回】『住まいの多様性』『魅力的な住まい方』とは

- <社会的・空間的資源とともに住まいを継承> SDGs、持続可能性の観点から次の世代に引継ぐ
- <新たなコミュニティ> 価値観でつながる、自宅と会社以外の居場所
- <幸せのパラダイムシフト> お金持ちでなくても豊かな暮らしを実感

2 信州の住まい方コンクール

- ・募集期間：R1.7.10~8.28
- ・事例部門：住宅の実例
- ・提案部門：住まい方の提案



3 県民ワークショップ

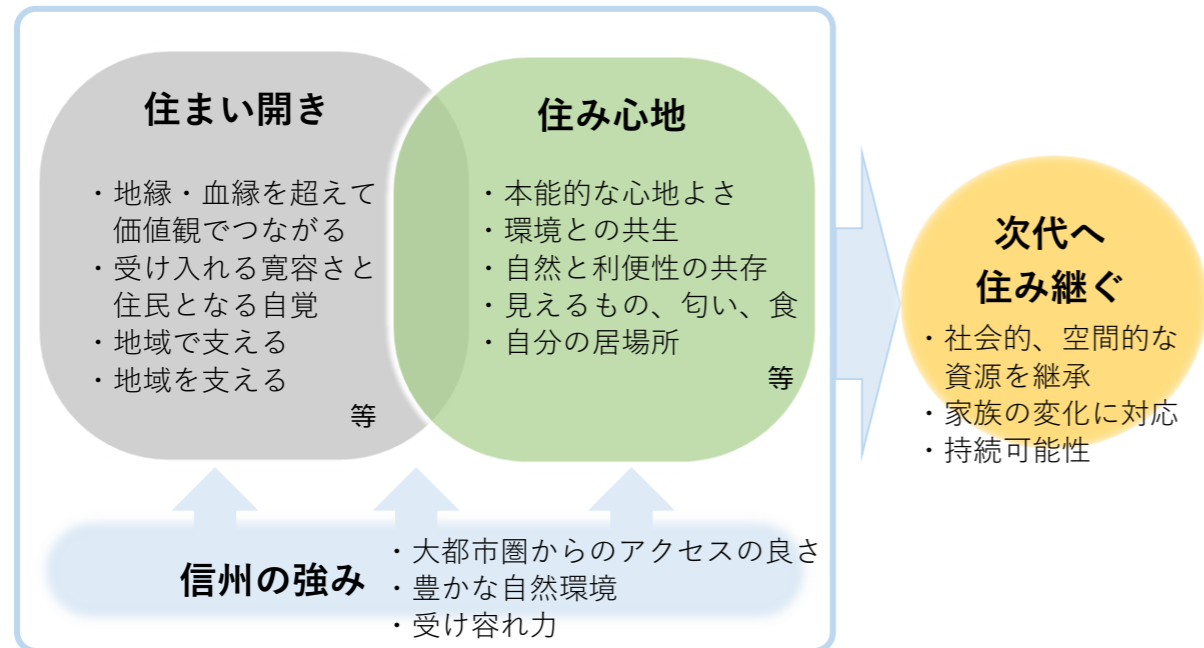
- ① 信州の多様な住まい方
- ② 空き家等の活用方法

4 県民アンケート実施

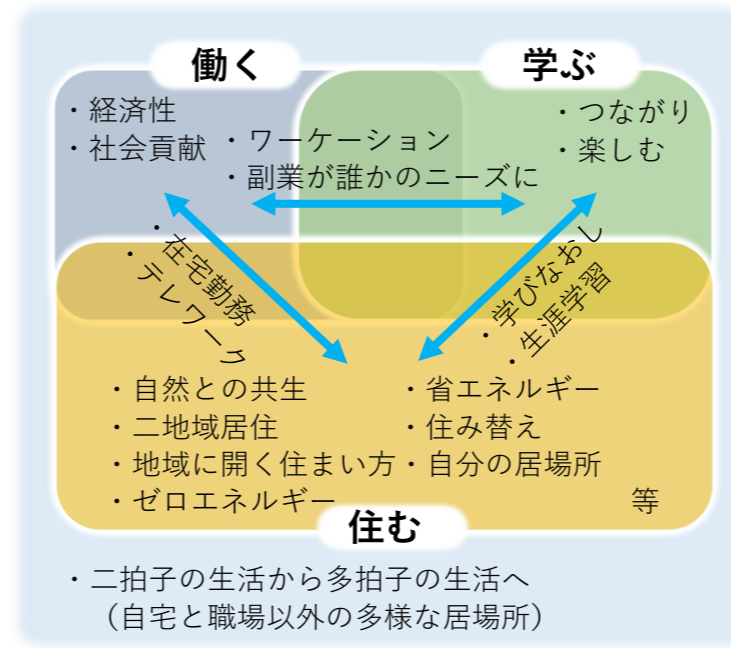
- ・回答者数：約1,000人
- ・主な質問 (信州の住まい) 住宅の種類、地域交流、暮らし方 不便な点、優先事項、居住地 等

III しあわせ・豊かさを感じる『信州の多様な住まい方』とは (たたき台)

(仮) 『地域に開かれた心地よい住まい方を社会で住み継ぐ』



多様な住まい方を取り巻く要素の関係性



10・20年後の住まい

